

THOMSON  DELPHION		RESEARCH My Account Products	SERVICES Search: Quick Number Boolean Advanced	INSIDE DELPHION
--	--	--	--	------------------------

The Delphion Integrated View

Buy Now: [More choices...](#)

Tools: Add to Work File: [Create new Work File](#)

View: [INPADOC](#) | Jump to: [Top](#) ☒ [Go to: Derwent...](#) ☒ [Em](#)

⌘ Title: **JP10245753A2: PRODUCTION OF NARROW LACE HAVING SCALLOP**

⌘ Country: **JP Japan**

⌘ Kind: **A**

⌘ Inventor: **YOSHIDA TOSHIKAZU;
FUJISHIMA KIYOHARU;
KURODA MASAHIRO;**

⌘ Assignee: **KURODA LACE:KK**
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)

⌘ Published / Filed: **Sept. 14, 1998 / Feb. 26, 1997**

⌘ Application **JP1997000042521**

Number:

⌘ IPC Code: **D04B 21/10; D04B 21/20;**

⌘ Priority Number: **Feb. 26, 1997 JP1997000042521**

⌘ Abstract:

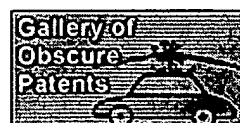
PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method for producing a narrow lace for a scallop edge having picot salvages, prevented in the generation of the cut ends of knitted yarns at the edge of the scallop.

SOLUTION: This method for producing the narrow lace 2 comprises producing a wide lace fabric in which many narrow laces for scallop edges having picots are knitted in the below-mentioned processes (1) and (2), and subsequently cutting the connecting knitted fabric portions 3 of the wide lace fabric 1. (1) Squeezing yarns 5 are inserted into or lapped on the wales of the narrow lace fabrics in a shaken state meandered over two or more wales to form a scallop salvage knitted tissue. (2) Picot-forming yarns 6 are inserted into the inside wales of the scallop salvage knitted tissue and inserted in a shaken state projected on the outside of the scallop salvage knitted tissue to form the picot-forming tissue.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

⌘ Family: **None**

⌘ Other Abstract **DERABS C98-551487 DERC98-551487**
Info:



[Nominate this for](#)

BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-245753

(43)公開日 平成10年(1998) 9月14日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

D 0 4 B 21/10

D 0 4 B 21/10

// D 0 4 B 21/20

21/20

Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平9-42521

(22)出願日 平成9年(1997) 2月26日

(71)出願人 597027305

株式会社クロダレース

石川県小松市国府台5丁目30番地

(72)発明者 ▲吉▼田 俊和

石川県小松市国府台5丁目30番地 株式会
社クロダレース内

(72)発明者 藤島 清春

石川県小松市国府台5丁目30番地 株式会
社クロダレース内

(72)発明者 黒田 将人

石川県小松市国府台5丁目30番地 株式会
社クロダレース内

(74)代理人 弁理士 石田 敬 (外3名)

(54)【発明の名称】 ピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースの製造方法

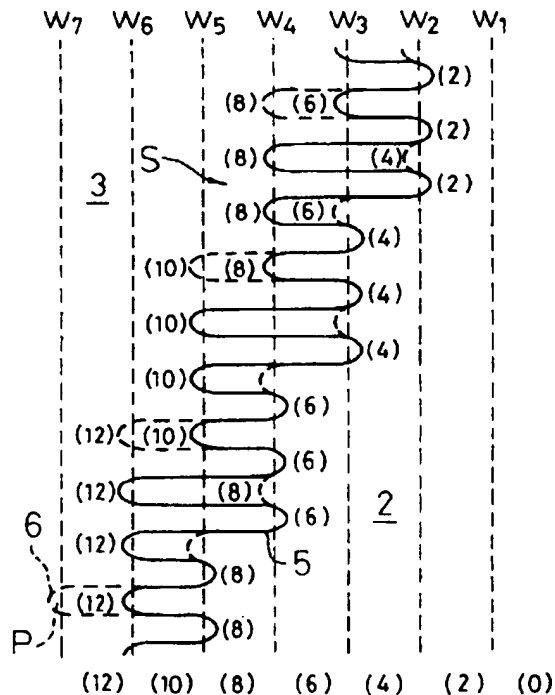
(57)【要約】

【課題】 スカラップの縁部の地編糸の切断端ひげの発生が抑制されたピコット耳付スカラップ縁飾用細幅レースの製法の提供。

【解決手段】 下記(1)及び(2)によりピコット付スカラップ縁飾細幅レースを多数編成した広幅レース地を調製し、広幅レース地の連結編地部を切除して細幅レースを製造する方法；

(1) 細幅レース地のウエールに、2乃至数ウエール蛇行する振りで絞糸を全コース挿入若しくはラッピングして編みスカラップ飾り耳編組織を形成すること。

(2) レース地組織のウエールに、ピコット形成糸をスカラップ飾り耳編組織の内側ウエールに挿入編する一方スカラップ飾り耳編組織の外側に突出させる振りで挿入編してピコット形成組織を形成すること。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数本の縁飾りを有する細幅レースを連結生地部で結合して編成した広幅レース地から切断、分離して得られるピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースの製造において、前記の細幅レースの少なくとも一つの縁部が下記(1)及び(2)により縁飾り編組織に編成された細幅レースを連結編地部と結合して編成した広幅レース地を調製し、該広幅レース地の連結編地部を縁飾りの外郭に沿って切除してピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースを分離取得することを特徴とするピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースの製造方法；

(1) 細幅レース地組織のウエールに、2乃至数ウエール蛇行する振りで絞りを全コース挿入編若しくはラッピングで編み込んでスカラップ飾り耳編組織を形成すること。

(2) レース地組織のウエールに、ピコット形成糸をスカラップ飾り耳編組織の内側ウエールに挿入編する一方スカラップ飾り耳編組織の外側に突出させる振りで挿入編してピコット形成組織を形成すること。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、縁飾り縁部でのひげ状毛羽の発生が抑制されたピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースの製造方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 ブラウス、ランジェリー等の縁飾り、切り込み部等に用いられる細幅飾りレース（ナロウレース）は、その縁部にスカラップ、ピコット等の縁飾りが形成されている。このような細幅の縁飾りレースは、その多数本を連結編地部を介して連結した広幅レース地を編機幅いっぱいに編成し、仕上げ加工後、スカラップ、ピコット等縁飾りの外郭に沿って連結編地部を切除することで分離されて製造される。

【0003】 図1(A)のごく一般的な例で示されるように、広幅編地(1)は、複数本の細幅レース(2₁)、(2₂)、...、(2_n)を適宜幅の連結編地部(3)を介して連結してラッセル編機等の経編機で編機幅いっぱいに編成される。この広幅レース編地(1)の幅内で、細幅レース(2₁)と(2₂)は、その縁部にピコット(P)を含むスカラップ(S)の縁飾り編部が連結生地部(3)を介して結合されて編まれている。この広幅レース地(1)から、連結生地部(3)を切除することで、図1(B)で模式的に示すピコット(P)付スカラップ(S)の縁飾りを有する細幅レース(2)が多数本一挙に製造される。

【0004】 図2(B)は、地組組織が共に鎖編みで編まれる細幅レース部と連結編地部との広幅レース地の編組織を部分的に示し、図中w₁、w₂、...、w₇、...は、鎖編の地組織のウエールを示す。図

2(B)において、細幅レース地(2)の縁部は、絞り糸(5)が1乃至2針で蛇行して振られる挿入編で縁飾り編を組織してスカラップ(S)を形成し、一方ピコット形成糸(6)が3コース毎にスカラップ(S)の縁よりもループを1ウエール外側に突出する走りで挿入編されピコット(P)を形成してそれぞれ地組織に編込まれている。次いで、広幅レース地は常法により仕上加工された後、細幅レース(2)のスカラップ縁飾りのピコット(P)の先端外側を切断線(10)に沿って連結生地部(3)を切除して図2(A)で示されるピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースが得られる。

【0005】 前述のように、ピコット付スカラップ縁飾りを有する広幅レース地から切断法で得られる細幅レースは、図2(A)で示されるようにピコット付スカラップの縁部で地組織のウエールが切断されているので、スカラップ(S)の縁部で、ピコット(P)の先端部の糸に係合している地編組織のウエールの切断端がピコットの根元から外れて、スカラップの形状を崩したり、切断余端が地組織から外れたり、切断端の編目がほつれてスカラップの縁からヒゲ状物(4)となって、製品のスカラップ縁飾り耳の美観を損なう欠点がある。

【0006】 特公平3-46578号公報には、細幅レース地の地編組織のウエール、特にスカラップの湾曲と凸部の縁部に編まれる地編組織の鎖編のウエールに、スカラップの湾曲形状に沿って順次移行してほつれ防止糸のループを添えて編むことで地組織の鎖編ウエールの切断先端をほつれにくくする着想が開示されている。この公知方法では、レースの地組織のウエールのほつれ防止糸の先端が地組織に強く係合して編み込まれていないので、スカラップ端縁部でのほつれ防止糸と地組織糸の切断端のほつれ、編目外れを抑えることは困難である。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 本発明の目的は、広幅レース地から連結生地部を切除して、分離することにより得られるピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースの製造において、スカラップ縁飾りの縁に発生する地編構成糸の切断端が地組織から外れたり、ほつれたりすることを抑制して美観に富むピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースの形成方法を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明の目的は、複数本の縁飾りを有する細幅レースを連結生地部で結合して編成した広幅レース地から切断、分離して得られるピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースの製造において、前記の細幅レースの少なくとも一つの縁部が下記(1)及び(2)により縁飾り編組織に編成された細幅レースを連結編地部と結合して編成した広幅レース地を調製し、該広幅レース地の連結編地部を縁飾りの外郭に沿って切除してピコット付スカラップ縁飾りを有する細

幅飾りレースを分離することを特徴とするピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースの製造方法によって達成される：

(1) 細幅レース地組織のウエールに、2乃至数ウエール蛇行する振りで絞りを全コース挿入編若しくはラッピングで編み込んでスカラップ飾り耳編組織を形成すること。

(2) レース地組織のウエールに、ピコット形成糸をスカラップ飾り耳編組織の内側ウエールに挿入編する一方スカラップ飾り耳編組織の外側に突出させる振りで挿入編してピコット形成組織を形成すること。

【0009】複数の細幅レースを含む広幅レース地は、地筈、所望枚数の縁用筈及び所望数の柄筈を備えた汎用のラッセル機等の経編機を用いて、一般には編機幅いっぱい編成される。広幅レース地に含まれる細幅レースの地編組織、柄模様の組織及び連結生地部は、汎用の既知技術から任意に選んで編成することができる。細幅レースの地組織は、鎖編み組織に適宜挿入糸で鎖編のウエールを連結した組織、1×1トリコット等で編れることが多い。絞り糸及びピコット形成糸等の縁飾り編組織は、通常2～3枚の縁用筈を用いて編成される。なお、連結編地部の組織は、細幅レースの地組織と共通したものであってよい。

【0010】一般に、ブラウス、ランジェリー等の縁飾り、切り込み部等に用いられる細幅飾りレースは、その幅が10cm前後から20cm程度のもので、ウエール数にして概ね50ウエールから200ウエールの編幅（仕上げ幅）に編成される。細幅レースは、その縁部にスカラップ、ピコット等の縁飾りが形成される。細幅レースを含む広幅レース地の編成用糸は、一般にレース地の編成に用いられる繊維素材の糸から任意に選択して用いることができる。常識的には、例えば、地組織にはナイロン多繊糸（30～40デニール）、柄糸にはナイロン若しくはレーヨン（50～300デニール）、ピコット形成用糸にはナイロン多繊糸（300～900デニール）及び絞り糸にはナイロン多繊糸（30～60デニール）等が使用される。

【0011】広幅レースは、仕上げ加工を経て後、その連結用生地を切除して、ピコット付スカラップ縁飾り有する細幅飾りレースが得られる。以下に、本発明の実施態様を図面を参照して具体的に説明する。図3及び図4を参照して、地編組織が鎖編で編成されるピコット付スカラップ縁飾り部を有する細幅飾りレースの製造例を説明する。図3は、細幅レース(2)の地編組織の縁部にピコット付スカラップ飾り耳編組織形成した連結編地(3)につながっている広幅生地(1)の編構造の部分を示すもので、説明を簡単にするため、地編組織を構成する鎖編みのウエールを(w_1)、(w_2)、(w_3)、(w_4)、...、(w_5)、及び(w_n)で示す。なお、連結編地部(3)は細幅レースの地編組織と

同じく鎖編みで編成されている。

【0012】細幅レース部(2)の縁部には、図4で示されるように絞り糸(5)が下記の振りで1乃至3針の幅で蛇行する挿入編で編込まれ、スカラップ(S)を形成している。この例では、スカラップは絞り糸(5)を3コース毎に形成されるピコット(P)の根元のウエールに3コース連続して係合すると共に、階段状に蛇行する絞り糸が下記振りの挿入編で形成されている。

【0013】

8 12 8 12 6 12 6 10 6 10 4 10 4 8 4 8 2 8 ...

一方、ピコット形成糸(6)は、下記の振りで細幅レースの地編組織に挿入編され、3コース毎にピコット(P)を連結編地部に向けて1ウエール突出させて形成して下記の編成組織で編込まれている。

8 14 8 10 6 8 6 12 6 8 4 6 4 10 4 6 2 4 2 8 ...

このようにして編成された広幅レース地(1)は、仕上げ加工の後、ピコット先端の外側に沿って切断され、連結編地部(3)が切除されたピコット付スカラップ縁飾り組織を有する細幅レースが得られる。得られた細幅レースは、地編組織のウエールの切断端が絞り糸のスカラップ編組織でレース地組織内に絞り込まれ、しっかりと保持されているので、地編の鎖編がその組織から容易に外れて見苦しいヒゲが発生することを妨げられている。かくして、すっきりとした輪郭を有する美しい輪郭のピコット付スカラップ縁飾り耳を有する細幅レースを得ることができる。

【0014】図5は、図3の例と同じく地組織を鎖編で構成したピコット付スカラップ縁飾り耳を有する細幅飾りレースの製造において、広幅レース地は絞り糸(5)を一針間もしくは2針間で下記のごとくオーバー・ラップ、アンダー・ラップする振りで編み込めてスカラップ(S)が形成された例を示す。この実施例では図6で示されるように、ピコット形成糸(6)は、下記する振りで3コース毎に挿入編組織で編成され、図3の例と同じ間隔でピコット(P)が形成されている。

10 8/10 12 /10 8/10 12 /8 6 /10 12 /8 6 /8
10/8 6 /8 10/...

このように編成した広幅レース地(1)から連結編地(3)をピコット(P)の外側に沿って切除して、美しいピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースが得られる。図6で明らかなように、3コース毎に形成されたピコット(P)の間の地編ウエールの編目は、絞り糸(5)のラッピングで強固に係合されているので、レース地編組織内に一層引き込まれ、絞り込まれている。したがって、地組織のウエールの切断端が、図3(図4)で説明した実施例よりも一層外れにくく、またほつれにくいピコット耳付スカラップ縁飾りを形成することができる。かくして、細幅レースのピコット付スカラップ飾り耳縁におけるヒゲの発生は、確実に抑制される。

【0015】なお、図3、4及び図5、6で示した実施

例は、ピコットを3コース毎に形成する例であるが、ピコットは細幅レースの柄によって、所望の間隔で設けることができる。

【0016】

【発明の効果】本発明の製造方法によるピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースの製造方法は、スカラップ端縁部での地組織からの編目切断端のほつれ、編目外れによる地糸切断端ひげの発生が確実に抑制できる絞り糸の編組織で挿入若しくはラッピングさせる編構造を採用したことで、スカラップ湾曲部の形状をシャープで美観に富み、ブラウス、ランジェリー等の飾りレースとして品位が高く、優雅な縁飾り効果を奏する細幅飾りレースを製造することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1(A)は、広幅レース地における複数の細幅レースの連結態様を示す。図1(B)は、広幅レースから切断分離した細幅レースを特にそのピコット付スカラップ縁飾りの形状を拡大して示す。

【図2】図2(A)は、細幅レースのスカラップ湾曲部縁におけるひげ毛羽発生原理説明図である。図2(B)は、ピコット付スカラップ縁飾りを有する細幅レースの広幅レース地からの切断、分離の方法を模式的に示す。

【図3】図3は、本発明によるピコット付スカラップ縁飾り編部を有する細幅レースを連結して編んだ広幅レース(部分)の実施例を示す。

【図4】図4は、図3の広幅レース地から切断、分離される本発明による細幅レース地のピコット付縁飾り部の編組織の説明図である。

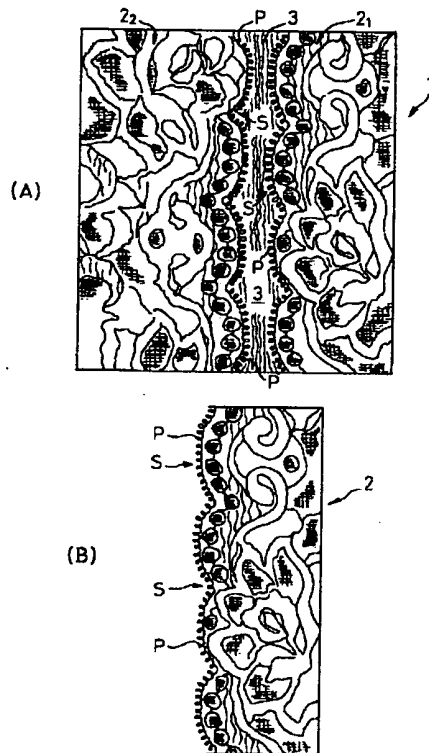
【図5】図5は、本発明によるピコット付スカラップ縁飾り編部を有する細幅レースを連結して編んだ他の広幅レース(部分)の実施例を示す。

【図6】図6は、図5の広幅レース地から切断、分離される本発明による細幅レース地のピコット付縁飾り部の編組織の説明図である。

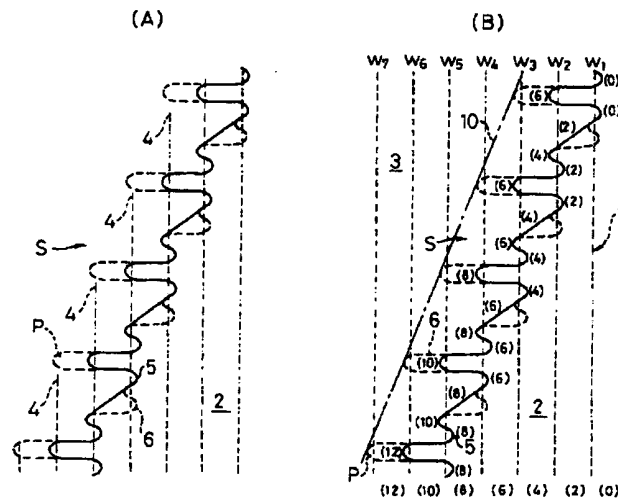
【符号の説明】

- 1…広幅レース地
- 2…細幅レース
- 3…連結生地部
- 4…ひげ状毛羽
- 5…絞り糸
- 6…ピコット形成用糸
- P…ピコット
- S…スカラップ
- (2)～(12)…挿入又はラッピングのリンク番号

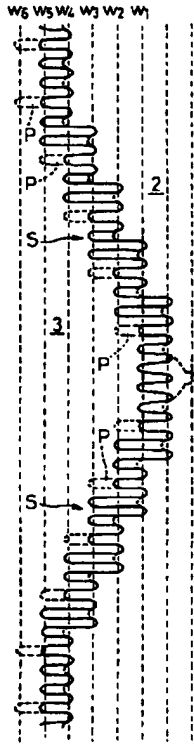
【図1】



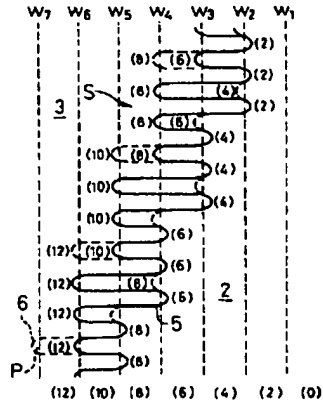
【図2】



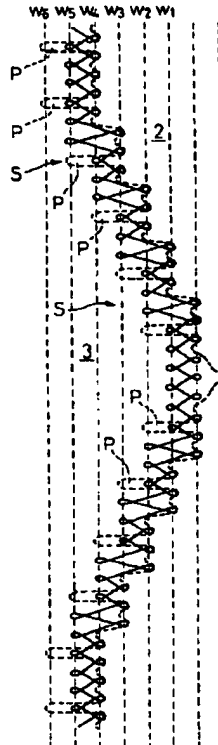
【図3】



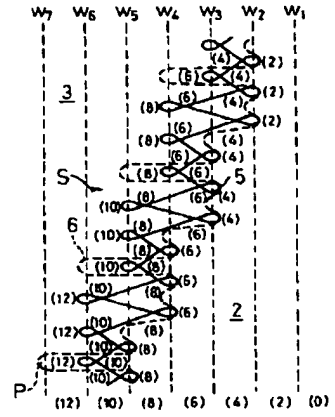
【図4】



【図5】



【図6】



THIS PAGE BLANK (USPTO)